

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（東海第二（923））
2. 日時：平成30年5月8日 18時35分～18時40分
3. 場所：原子力規制庁 8階会議卓

4. 出席者

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

矢野審査チーム員、高嶋原子力規制専門員

事業者：

日本原子力発電株式会社：発電管理室 プラント管理グループ 主任

5. 要旨

- (1) 日本原子力発電株式会社から、平成26年5月20日に申請、平成29年1月24日及び平成30年2月13日に一部補正のなされた東海第二発電所の工事計画認可申請について、当該申請書に係る補足説明資料の一部が提出された。
- (2) 原子力規制庁から、事業者の準備が整ったものからヒアリングを進め、必要に応じて指摘を行っていく旨を伝えた。
- (3) 日本原子力発電から、了解した旨の回答があった。

6. その他

提出資料：

- ・ 中央制御室の居住性に関する説明書
- ・ 中央制御室の居住性に関する説明書に係る補足説明資料
- ・ 緊急時対策所の居住性に関する説明書
- ・ 工事計画に係る補足説明資料 その他発電用原子炉の附属施設のうち補足-330-1【緊急時対策所の居住性に関する補足説明資料 緊急時対策所の居住性について】
- ・ 火山への配慮に関する説明書
- ・ 設計及び工事に係る品質管理の方法等に関する説明書に係る補足説明資料のうち補足-140-1【基本設計方針から工認添付説明書及び様式-1への展開表（原子炉本体）】
- ・ 設計及び工事に係る品質管理の方法等に関する説明書に係る補足説明資料のうち補足-140-9【基本設計方針から工認添付説明書及び様式-1への展開表（その他附属施設常用電源設備）】

- ・ 日本原子力発電株式会社 東海第二発電所 本文 常用電源設備の基本設計方針 抜粋資料
- ・ 工学的安全施設等の起動（作動）信号の設定値の根拠に関する説明書
- ・ 補足-240-2 工学的安全施設等の起動（作動）信号の設定値の根拠に関する説明書に係る補足説明資料
- ・ 使用済燃料貯蔵槽の温度，水位及び漏えいを監視する装置の構成に関する説明書並びに計測範囲及び警報動作範囲に関する説明書
- ・ 工事計画に係る補足説明資料 工事計画に係る説明資料（核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設）のうち使用済燃料貯蔵槽の温度，水位及び漏えいを監視する装置の構成に関する説明書並びに計測範囲及び警報動作範囲に関する説明書 補足-170-1【使用済燃料貯蔵槽の温度，水位及び漏えいを監視する装置の構成並びに計測範囲及び警報動作範囲について】
- ・ 原子炉非常停止信号の設定値の根拠に関する説明書
- ・ 発電用原子炉の運転を管理するための制御装置に係る制御方法に関する説明書
- ・ 工事計画に係る補足説明資料 工事計画に係る説明資料（計測制御系統施設）のうち発電用原子炉の運転を管理するための制御装置に係る制御方法に関する説明書 補足-240-3【安全保護系の応答時間について】
- ・ ほう酸水貯蔵タンクの耐震性についての計算書
- ・ 非常用無停電電源装置の耐震性についての計算書